

山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会・
情報発信力強化業務委託に係る企画提案審査委員会
会議録

(令和8年6月18日掲載)

1 日 時 令和8年5月26日(火) 13時00分～15時25分

2 場 所 県庁防災新館401会議室

3 出席者(敬称略)

(委員) 岩間勝宏 鈴木孝二 仲田峻 深澤弘樹 降矢結城
(事務局) 広聴広報グループ主査 他(計3人)

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 審査委員紹介
- (3) 議事
- (4) 閉会

5 会議に付した事案の案件(又は議題)

- (1) 会議の非公開について【非公開】
- (2) 会長の互選について【非公開】
- (3) 審査委員会運営要綱の制定について【非公開】
- (4) 企画提案の審査及び受託事業者の選定について【非公開】

6 議事の概要

(1) 会議の非公開について

(委員) 審議会については、山梨県情報公開条例に定める不開示情報に該当する事項について審議を行うときは、会議の全部または一部公開しないことができるとされている。本審議会はプロポーザル審査を行うものであり、審査前に委員を公にすることで、審査の公正な遂行に支障を及ぼすおそれがある。また、議事(4)の企画提案の審査及び受託事業者の選定について、提案企業がこれまでの事業活動において蓄積したノウハウ等が含まれ、これを公にすることにより、提案企業の競争上の地位、その他正当な利益を害するおそれがある。よって山梨県情報公開条例第8条に規定する不開示情報に該当することから、本日の委員会のすべてを非公開とすることを提案するが如何か。

(異議なし)

(委員) それでは本日の委員会は非公開とする。

(2) 会長の互選について

(委員) 附属機関の設置に関する条例第5条の規定により、審査委員会には委員の互選により会長を置くこととされている。皆様がよろしければ高度政策推進局次長の鈴木委員に会長をお願いしたいと思うが如何か。

(異議なし)

(会長) 皆様には審査委員をお引き受けいただき感謝。また、本日の審査会にあたり、事前に書面審査をいただき重ねて感謝。効果的な県政運営を実現するためには、施策事業の対象と

なる県民、また事業者の皆様へ情報を正しく確実に届け、理解や共感を得ていくことが非常に重要となっている。特に、情報の収集や発信を行うにあたっては、県内メディアにとどまることなく、全国や海外を念頭に広報の強化に取り組んでいるところ。一方で、さらなるパブリシティの獲得に向けては、専門性の強化やメディアとの連携といった面で課題が残る。情報発信力の強化を図るため、公募型プロポーザル方式を採用したところ、7社から応募があり、事前審査のうえ本日3社に提案いただくことになった。事業の効果を最大化するため、委員の皆様の方からの忌憚のない意見をいただく中で、事業者を選定したい。本日は審査についてよろしく願います。

(3) 審査委員会運営要綱の制定について

(会長) 附属機関の運営に関し必要な事項は、会長が委員会に諮って定めることとされている。資料1を御覧いただきたい。本委員会の業務として情報発信力強化業務委託に係る企画提案を審査すること、庶務を広聴広報グループが処理することなどを定めるものである。これに御異議あるか。

(異議なし)

(会長) 要綱については、お諮りしたとおりとさせていただきます。

(4) 企画提案の審査及び受託事業者の選定について

(会長) 審査要領について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 審査要領について説明する。企画提案を募集したところ、7社から提案があり、一次審査の結果、3社を選定して書面議決で承認いただいた。本日のプレゼンテーションは、企画提案書が広聴広報グループに届いた順に実施する。まず提案者から15分間プレゼンテーション、その後質疑を15分行う。質疑終了後、採点時間を5分とり、次の企業のプレゼンテーションに移る。これを繰り返す。提案3社のプレゼンテーション、質疑が終了したら、審査に入る。審査では、委員の皆様から各自2分程度を目安に発言いただく。その後、審査表を提出していただく。提出いただいた審査表の点数を事務局で集計し、結果を確認していただく。審査は企業名を伏せて行うので、プレゼンテーションや質疑の中で、企業名を特定するような質問はお控えいただきたい。

(会長) 事務局からの説明に委員の皆様から質問等あるか。

(質疑なし)

(会長) 質問がなければプレゼンに入る。

(提案業者3社のプレゼンテーション、質疑)

(会長) 委員から各社のプレゼンに対するご意見を2分程度で伺いたい。

(各委員からの意見) ※

(会長) 審査表に点数を記入いただいて事務局に提出していただきたい。

(審査表を事務局で集計) ※

※ 審査結果（各事業者の点数及び委員の意見等）については、別紙 審査結果のとおり。

（会長） C社が400.80点で最高点であるため、C社を最優秀提案事業者に決定してよろしいか。

（異議なし）

（会長） 今後、県において契約の準備を進めていくが、契約の際に留意すべきこととして県に伝えることがあればお願いしたい。

（意見なし）

（会長） 県においては、審査の内容等も勘案しながら、よりよい事業成果を出せるよう事業執行に取り組んでいただきたい。以上で審査を終了する。

（事務局） 審査委員の皆様へ感謝。冒頭申し上げたように、審査結果については、5人の審査委員の合計点を項目ごとに公表。また本日のプレゼン内容については、外部へ公表しないようにお願いします。また、プレゼン資料は回収して処分するので、机の上にそのまま置いたままにしていいただきたい。本日はお忙しいところ、出席いただき感謝。

別紙

山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会・情報発信力強化業務委託に係る企画提案審査委員会 審査結果

【審査年月日】令和8年5月26日

【担当所属】高度政策推進局広聴広報グループ

	評価項目	配点	C社【最優秀提案事業者】 (株) サニーサイドアップ	A社	B社
1	提案方針 ・本業務に対する目的や考え方が具体的かつ適切か	10点×5人 50点	38	32	38
2	業務共通 ・事業を確実かつ効果的に実施する専門的知識を有しているか ・事業を確実かつ効果的に実施する具体的な実績を有しているか ・メディア露出を獲得できるネットワークに期待ができるか	25点×5人 125点	100	95	90
3	メディアキャラバン ・独自のノウハウやネットワークを活かした提案となっているか ・県政の情報発信・拡散につながるネットワークの獲得に期待ができるか	10点×5人 50点	36	34	40
4	メディアアプローチ ・露出獲得に向けたプロセスが具体的に示されているか ・露出獲得の確度を高める創意工夫がなされているか ・継続したメディア露出に期待ができるか	20点×5人 100点	80	84	76
5	戦略的コンサルティング等 ・迅速かつ正確な露出調査を実施し、定量的な分析や提案が期待できるか ・高い専門性や知見による的確な助言が期待できるか	10点×5人 50点	38	30	42
6	委託業務の実施体制 ・人員体制配置予定者の専門性は十分か ・実施体制及び役割分担が具体的に明示され、事業を円滑に進められるような体制であるか ・突発的な依頼に対しても迅速に対応できる体制となっているか	15点×5人 75点	60	51	60
8	費用対効果 ・評価点×(全提案者中最低見積額/提案者見積額) ※小数点以下第3位を四捨五入	10点×5人 50点	48.8	48.7	48.7
合計		100点×5人 500点	400.8	374.7	394.7
委員の意見			<ul style="list-style-type: none"> ●非常にバランスがとれており、体制面を含め総合的に高い評価ができる。全体として安定感のある提案である。 ●2社体制については、相互補完による強みが期待できる一方で、連携面において課題が生じる可能性もある。 ●KPIについて、高い目標水準が設定されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ業界関係者との強いつながりがあり、今後テレビ露出の拡大が期待できる点は大きな強みとして評価できた。 ●山梨県に関する事前調査の深さについてはやや不明確であり、どの程度具体的な理解に基づいた提案であるかが見えにくかった。 ●テレビを中心とした構成となっており、他メディアへの展開力や波及効果がやや見えにくい印象を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体として、安定感と業務理解の深さが際立つ良質な提案であり、特にAIエージェントの活用や山梨の現状認識には高い評価ができる。 ●成果をどのように測るかというKPI設定が不足している印象を受けた。